

東京書籍「精選文学国語」(文国 002-902)

■「光の窓」ルブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②時代の特質 (2) ア	・筆者の幼少期の生活環境や外国の絵画作品との出会い方を理解し、説明している。	・筆者の幼少期の生活環境や外国の絵画作品との出会い方を理解している。	・筆者の幼少期の生活環境や外国の絵画作品との出会い方を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・筆者が、幼年期と大人になってからの自分の絵の見方を、それぞれどう捉えているかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・「おまえ、墮落したな。」に込められた筆者の思いを理解し、説明している。 ・「光の窓」というタイトルの意味を理解し、説明している。	・筆者が、幼年期と大人になってからの自分の絵の見方を、それぞれどう捉えているかを読み取っている。 ・「おまえ、墮落したな。」に込められた筆者の思いを理解している。 ・「光の窓」というタイトルの意味を理解している。	・筆者が、幼年期と大人になってからの自分の絵の見方を、それぞれどう捉えているかを読み取っていない。 ・「おまえ、墮落したな。」に込められた筆者の思いを理解していない。 ・「光の窓」というタイトルの意味を理解していない。
	⑤考えの形成 読(1) カ	・筆者の、言葉と感覚との関係の捉え方を理解し、自分の好きな絵の魅力と自分自身の感覚を関連づけて考えを深め、その内容を説明している。	・筆者の、言葉と感覚との関係の捉え方を理解し、自分の好きな絵の魅力と自分自身の感覚を関連づけて考えを深めている。	・筆者の、言葉と感覚との関係の捉え方を理解していないか、理解していても自分の好きな絵の魅力と自分自身の感覚を関連づけて考えていない。

主体的に 学習に取り 組む態度	⑥考察	自分の好きな絵の魅力と自分自身の感覚を関連づけて考えをまとめ、発表を通してさらに考えを深めようとしている。	自分の好きな絵の魅力と自分自身の感覚を関連づけて考えをまとめ、発表しようとしている。	自分の好きな絵の魅力と自分自身の感覚を関連づけて考えをまとめ、発表しようとしていない。
-----------------------	-----	---	--	---

■「言葉の痕跡」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②日本語の特質 (2) ア	・筆者の多言語体験から日本語の特質を理解し、その内容を説明している。	・筆者の多言語体験から日本語の特質を理解している。	・筆者の多言語体験から日本語の特質を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・二つのカフェで筆者の受けとった「おまけ」について理解し、根拠とともに説明している。 ・「こういうおまけの部分」「そういう言葉のはみ出したところ」について、筆者の捉え方を理解し、説明している。 ・筆者にとっての「生きた『お気に入り』の言葉」の意味を理解し、説明している。	・二つのカフェで筆者の受けとった「おまけ」について理解している。 ・「こういうおまけの部分」「そういう言葉のはみ出したところ」について、筆者の捉え方を理解している。 ・筆者にとっての「生きた『お気に入り』の言葉」の意味を理解している。	・二つのカフェで筆者の受けとった「おまけ」について理解していない。 ・「こういうおまけの部分」「そういう言葉のはみ出したところ」について、筆者の捉え方を理解していない。 ・筆者にとっての「生きた『お気に入り』の言葉」の意味を理解していない。
	④考えの形成 読(1) カ	・筆者の多言語体験に基づくものの見方や感じ方を捉え、言葉と自分との関係について考えを深め、その内容を説明している。	・筆者の多言語体験に基づくものの見方や感じ方を捉え、言葉と自分との関係について考えを深めている。	・筆者の多言語体験に基づくものの見方や感じ方を捉えていないか、捉えていても言葉と自分との関係について考えを深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤考察	・自分にとっての「おまけポイント」がついている言葉について考えをまとめ、紹介し合うことを通してさらに考えを深めようとしている。	・自分にとっての「おまけポイント」がついている言葉について考えをまとめ、紹介し合おうとしている。	・自分にとっての「おまけポイント」がついている言葉について考えをまとめ、紹介し合おうとしていない。

■「山月記」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・漢文調を生かした語句について、指示されたものに限らず、自ら探して調べ、意味や使われ方について理解している。	・漢文調を生かした語句について、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。	・漢文調を生かした語句について、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②時代の特徴 (2) ア	・作者の生きた時代背景や作者の立場を理解し、その内容を説明している。 ・中国・唐代の官僚制や地名について理解し、その内容を説明している。	・作者の生きた時代背景や作者の立場を理解している。 ・中国・唐代の官僚制や地名について理解している。	・作者の生きた時代背景や作者の立場を理解していない。 ・中国・唐代の官僚制や地名について理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解し、根拠をもって説明している。	・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解している。	・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握と解釈 読(1) アイ	・語り手の変化を踏まえて場面分けをして全体の構成を把握し、その内容を説明している。 ・李徴の生い立ちと人間像について読み取り、根拠とともに説明している。 ・李徴が虎になった経緯と虎になった心情を読み取り、根拠とともに説明している。 ・李徴が自らの詩を袁傜に伝えた理由と、袁傜がその作品をどのように感じたかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・李徴の心情の変化を読み取り、根拠とともに説明している。	・語り手の変化を踏まえて場面分けをして全体の構成を把握している。 ・李徴の生い立ちと人間像について読み取っている。 ・李徴が虎になった経緯と虎になった心情を読み取っている。 ・李徴が自らの詩を袁傜に伝えた理由と、袁傜がその作品をどのように感じたかを読み取っている。 ・李徴の心情の変化を読み取っている。	・語り手の変化を踏まえて場面分けをして全体の構成を把握していない。 ・李徴の生い立ちと人間像について読み取っていない。 ・李徴が虎になった経緯と虎になった心情を読み取っていない。 ・李徴が自らの詩を袁傜に伝えた理由と、袁傜がその作品をどのように感じたかを読み取っていない。 ・李徴の心情の変化を読み取っていない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑤考察・話し合い	・ 李徴の生き方についての自分の考えをまとめ、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・ 李徴の生き方についての自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	・ 李徴の生き方についての自分の考えをまとめ、話し合おうとしていない。
-----------------------	----------	--	--	---

■「【読み比べ】『山月記』と『人虎伝』を読み比べる」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②時代の特質 (2) ア	・作者の生きた時代背景や作者の立場を理解し、その内容を説明している。	・作者の生きた時代背景や作者の立場を理解している。	・作者の生きた時代背景や作者の立場を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・翻案作品と元の作品を比較することを通して、その作品の見方、感じ方、考え方を深める意義について理解し、根拠をもって説明している。	・翻案作品と元の作品を比較することを通して、その作品の見方、感じ方、考え方を深める意義について理解している。	・翻案作品と元の作品を比較することを通して、その作品の見方、感じ方、考え方を深める意義について理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・「人虎伝」では記されているが、「山月記」では削除されている李徴の特徴を読み取り、その内容を説明している。 ・両作における李徴の詩作の意義について、その違いを読み取り、根拠とともに説明している。 ・両作における李徴の発狂の理由について、その違いを読み取り、根拠とともに説明している。	・「人虎伝」では記されているが、「山月記」では削除されている李徴の特徴を読み取っている。 ・両作における李徴の詩作の意義について、その違いを読み取っている。 ・両作における李徴の発狂の理由について、その違いを読み取っている。	・「人虎伝」では記されているが、「山月記」では削除されている李徴の特徴を読み取っていない。 ・両作における李徴の詩作の意義について、その違いを読み取っていない。 ・両作における李徴の発狂の理由について、その違いを読み取っていない。
	⑤作品の解釈 読(1) オ	・作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めて、根拠とともに説明している。	・作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	・作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めていない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑥考察・話し合い	・ 翻案作品と元の作品を比較し、翻案における作者のねらいやその効果について話し合おうとしており、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・ 翻案作品と元の作品を比較し、翻案における作者のねらいやその効果について話し合おうとしている。	・ 翻案作品と元の作品を比較し、翻案における作者のねらいやその効果について話し合おうとしていない。
-----------------------	----------	---	--	---

■「あの朝」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②作品の背景 (2) ア	・登場人物の状況や心情の変化から、作品の背景を理解し、その内容を説明している。	・登場人物の状況や心情の変化から、作品の背景を理解している。	・登場人物の状況や心情の変化から、作品の背景を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・結婚前と結婚後の暮らしについて、市子はそれぞれどのように感じているか読み取り、根拠とともに説明している。 ・今後、「ひとりの朝」があったとしても「あのときとは違う」と市子が考える理由を読み取り、根拠とともに説明している。 ・かつての自分の朝について、市子はどのようなことを夫に話そうとしているのか読み取り、根拠とともに説明している。	・結婚前と結婚後の暮らしについて、市子はそれぞれどのように感じているか読み取っている。 ・今後、「ひとりの朝」があったとしても「あのときとは違う」と市子が考える理由を読み取っている。 ・かつての自分の朝について、市子はどのようなことを夫に話そうとしているのか読み取っている。	・結婚前と結婚後の暮らしについて、市子はそれぞれどのように感じているか読み取っていない。 ・今後、「ひとりの朝」があったとしても「あのときとは違う」と市子が考える理由を読み取っていない。 ・かつての自分の朝について、市子はどのようなことを夫に話そうとしているのか読み取っていない。
	④表現の特色 読(1) イ	・場面設定とその転換に伴う、市子の状況や心情の変化の描写の効果について理解し、その内容を説明している。	・場面設定とその転換に伴う、市子の状況や心情の変化の描写の効果について理解している。	・場面設定とその転換に伴う、市子の状況や心情の変化の描写の効果について理解していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤考察・話し合い	・市子の場合と比較しながら、自分の「なくすことで好きになったあれこれ」について考えをまとめ、話し合い、市子の心情の変化を読み取ろうとしている。	・市子の場合と比較しながら、自分の「なくすことで好きになったあれこれ」について考えをまとめ、話し合おうとしている。	・市子の場合と比較しながら、自分の「なくすことで好きになったあれこれ」について考えをまとめ、話し合おうとしていない。

■「【言語活動】小説を創作する」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き (1) ア	・小説の創作に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いており、読み手の想像を喚起する言葉や表現を用いている。	・小説の創作に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いている。	・小説の創作に必要な言葉を理解せず、正しく選択して書いていない。
	②小説創作の理解 (1) ウ	・小説を書く際には、「何をどのように書くか」を明確にしたうえで、書きたいことにふさわしい文体や表現を工夫して書くことを理解し、その内容を説明している。	・小説を書く際には、「何をどのように書くか」を明確にしたうえで、書きたいことにふさわしい文体や表現を工夫して書くことを理解している。	・小説を書く際には、「何をどのように書くか」を明確にしたうえで、書きたいことにふさわしい文体や表現を工夫して書くことを理解していない。
	③表現の技法 (1) エ	・文学的な文章表現の技法を理解し、書きたいことにふさわしいものを選択して書いている。	・文学的な文章表現の技法を理解して書いている。	・文学的な文章表現の技法を理解していない。
思考・判断・表現	④内容の検討 書(1) ア	・自分が書きたいことを明確にして、大まかなストーリー、登場人物、時間と場所、人称と視点について、根拠をもって選択し、メモを作っている。 ・作ったメモを参考にしながら、丁寧に言葉を選び、小説を書いている。 ・自分が書いたものを推敲し、よりよい表現になるように工夫している。 ・グループで批評し合い、それを受けて見直し、よい表現になるように工夫している。	・自分が書きたいことを明確にして、大まかなストーリー、登場人物、時間と場所、人称と視点について、メモを作っている。 ・作ったメモを参考にしながら、小説を書いている。 ・自分が書いたものを推敲している。 ・グループで批評し合っている。	・自分が書きたいことを明確にしていなかったり、大まかなストーリー、登場人物、時間と場所、人称と視点について、メモを作っていない。 ・メモの準備もなく、ただ漠然と小説を書いている。 ・自分が書いたものを推敲していない。 ・グループで批評し合っていない。
学習の主体的に取り組む態度	⑤小説の創作	・「何をどのように書くか」を明確にして小説を創作し、推敲したり友達の批評を受けて見直したりして、よりよい文章にしようとしている。	・「何をどのように書くか」を明確にして、小説を創作しようとしている。	・「何をどのように書くか」を明確にせず、ただ漠然と小説を創作しようとしている。

■「詩と感情生活」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②作品の背景 (2) ア	・唐詩「代悲白頭翁」がどのような作品か理解し、説明している。	・唐詩「代悲白頭翁」がどのような作品か理解している。	・唐詩「代悲白頭翁」がどのような作品か理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠とともに説明している。	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・「詩は何の役に立つのか」という問いについて、筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。 ・筆者は「詩の言葉」と「物事を指示する言葉」をどのようなものだと捉えているかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・詩における論理的矛盾についての筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。 ・筆者が「詩（主として抒情詩）」はどのようなものだと考えているかを読み取り、根拠とともに説明している。	・「詩は何の役に立つのか」という問いについて、筆者の考えを読み取っている。 ・筆者は「詩の言葉」と「物事を指示する言葉」をどのようなものだと捉えているかを読み取っている。 ・詩における論理的矛盾についての筆者の考えを読み取っている。 ・筆者が「詩（主として抒情詩）」はどのようなものだと考えているかを読み取っている。	・「詩は何の役に立つのか」という問いについて、筆者の考えを読み取っていない。 ・筆者は「詩の言葉」と「物事を指示する言葉」をどのようなものだと捉えているかを読み取っていない。 ・詩における論理的矛盾についての筆者の考えを読み取っていない。 ・筆者が「詩（主として抒情詩）」はどのようなものだと考えているかを読み取っていない。
	⑤考えの形成 読(1) カ	・筆者の、詩の捉え方を読み取ることを通して、詩の特質についての自分のものの見方、	・筆者の、詩の捉え方を読み取ることを通して、詩の特質についての自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・筆者の、詩の捉え方を読み取ることを通して、詩の特質についての自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。

		感じ方、考え方を深め、その内容を説明している。		
主体的に 学習に取り組む 態度	⑥意見の提示	・筆者の主張を踏まえて、詩の特質について、自分の考えを深め、説明しようとしている。	・筆者の主張を踏まえて、詩の特質について、自分の考えを深めようとしている。	・筆者の主張を踏まえて、詩の特質について、自分の考えを深めようとしていない。

■「言葉の池をつなぐ」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②作品の理解 (2) ア	・筆者の体験とその言語化について理解し、説明している。	・筆者の体験とその言語化について理解している。	・筆者の体験とその言語化について理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・「前者は一種の触媒と言ってもいい。」について、筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。 ・「無意識の発言だからこそ」について、無意識だからこそどのようなことが明らかになるのかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・「池と池を…」と「土砂の堆積で…」の二つの比喻について、それぞれどのようなことを例えているのか読み取り、根拠とともに説明している。 ・「際限のないこの沃野に身を委ねる喜び」とはどのようなことか読み取り、根拠とともに説明している。	・「前者は一種の触媒と言ってもいい。」について、筆者の考えを読み取っている。 ・「無意識の発言だからこそ」について、無意識だからこそどのようなことが明らかになるのかを読み取っている。 ・「池と池を…」と「土砂の堆積で…」の二つの比喻について、それぞれどのようなことを例えているのか読み取っている。 ・「際限のないこの沃野に身を委ねる喜び」とはどのようなことか読み取っている。	・「前者は一種の触媒と言ってもいい。」について、筆者の考えを読み取っていない。 ・「無意識の発言だからこそ」について、無意識だからこそどのようなことが明らかになるのかを読み取っていない。 ・「池と池を…」と「土砂の堆積で…」の二つの比喻について、それぞれどのようなことを例えているのか読み取っていない。 ・「際限のないこの沃野に身を委ねる喜び」とはどのようなことか読み取っていない。
	④考えの形成 読(1) カ	・筆者の、言葉の捉え方を読み取ることを通して、作品鑑賞と評価の仕方について考えを深め、その内容を説明している。	・筆者の、言葉の捉え方を読み取ることを通して、作品鑑賞と評価の仕方について考えを深めている。	・筆者の、言葉の捉え方を読み取ることを通して、作品鑑賞と評価の仕方について考えを深めていない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑤意見の提示・話し合い	・「体のいい時間短縮と効率の誘惑」について、文学などの芸術作品を味わう場合に考えられる例を挙げ、筆者と同じ、または異なる立場から、その良い点と悪い点を話し合うことを通して、日頃の生活に活かそうとしている。	・「体のいい時間短縮と効率の誘惑」について、文学などの芸術作品を味わう場合に考えられる例を挙げ、筆者と同じ、または異なる立場から、その良い点と悪い点を話し合おうとしている。	・「体のいい時間短縮と効率の誘惑」について、文学などの芸術作品を味わう場合に考えられる例を挙げ、筆者と同じ、または異なる立場から、その良い点と悪い点を話し合おうとしていない。
-----------------------	-------------	--	--	---

■「【言語活動】書評を書く」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き (1) ア	・書評の執筆に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いており、本の内容について想像を喚起する言葉を用いている。	・書評の執筆に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いている。	・書評の執筆に必要な言葉を理解せず、正しく選択して書いていない。
	②書評の理解 (1) ウ	・書評の特徴を踏まえ、作品の内容紹介と評価を区別して書くことを理解し、その内容を説明している。	・書評の特徴を踏まえ、作品の内容紹介と評価を区別して書くことを理解している。	・書評の特徴を踏まえず、作品の内容紹介と評価を区別して書くことを理解していない。
	③表現の技法 (1) エ	・書評にふさわしい文体や表現を理解し、根拠をもって選択して書いている。	・書評にふさわしい文体や表現を理解して書いている。	・書評にふさわしい文体や表現を理解して書いていない。
思考・判断・表現	④内容の評価 読(1) ア	・選んだ作品の内容や表現の特色を客観的に分析し、根拠をもって、評価している。	・選んだ作品の内容や表現の特色を評価している。	・選んだ作品の内容や表現の特色を評価していない。
	⑤比較・考察 読(1) ウ	・友達の書評を読むことを通して、よい書評についての考えを深め、根拠とともに説明している。 ・友達の書いた書評と、取り上げられている作品を読み比べ、その作品の構成や展開、表現の工夫の効果について理解し、根拠とともに説明している。	・友達の書評を読むことを通して、よい書評についての考えを深めている。 ・友達の書いた書評と、取り上げられている作品を読み比べ、その作品の構成や展開、表現の工夫の効果について理解している。	・友達の書評を読むことを通して、よい書評についての考えを深めていない。 ・友達の書いた書評と、取り上げられている作品を読み比べていないか、読み比べていても、その作品の構成や展開、表現の工夫の効果について理解していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥書評の執筆・評価	・書評の特徴を理解して書評を書こうとし、また友達の書評を読むことを通して、本への興味を広げようとしている。	・書評の特徴を理解して、書評を書こうとしている。	・書評の特徴を理解していないか、理解していても書評を書こうとしていない。

■「山椒魚」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②時代の特徴 (2) ア	・作品が書かれた時代背景を理解し、その内容を説明している。	・作品が書かれた時代背景を理解している。	・作品が書かれた時代背景を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・岩屋の内外の動植物の様子と、それぞれに対する山椒魚の気持ちを読み取り、根拠とともに説明している。 ・小えびの侵入に伴う山椒魚の心境の変化と、その後の山椒魚の行動を読み取り、説明している。 ・山椒魚と蛙の関係の変化から、蛙が山椒魚に与えた影響を読み取り、根拠とともに説明している。	・岩屋の内外の動植物の様子と、それぞれに対する山椒魚の気持ちを読み取っている。 ・小えびの侵入に伴う山椒魚の心境の変化と、その後の山椒魚の行動を読み取っている。 ・山椒魚と蛙の関係の変化から、蛙が山椒魚に与えた影響を読み取っている。	・岩屋の内外の動植物の様子と、それぞれに対する山椒魚の気持ちを読み取っていない。 ・小えびの侵入に伴う山椒魚の心境の変化と、その後の山椒魚の行動を読み取っていない。 ・山椒魚と蛙の関係の変化から、蛙が山椒魚に与えた影響を読み取っていない。
	⑤解釈の多様性 読(1) エ	・小説に込められた寓意を考察し、自分自身の生き方や考え方に触れながら、解釈し、説明している。	・小説に込められた寓意を考察し、自分自身の生き方や考え方に触れながら、解釈している。	・小説に込められた寓意を考察していないか、考察していても、自分自身の生き方や考え方に触れず、解釈していない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑥考察	小説に込められた寓意について感じたことを、自分自身の生き方や考え方に触れながらまとめ、考察を深めようとしている。	小説に込められた寓意について感じたことを、自分自身の生き方や考え方に触れながらまとめようとしている。	小説に込められた寓意について感じたことを、自分自身の生き方や考え方に触れながらまとめようとしていない。
-----------------------	-----	--	--	---

■「沖縄の手記から」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文学作品の知識 (2) ア	・作品の時代背景や当時の沖縄の状況を理解し、その内容を説明している。	・作品の時代背景や当時の沖縄の状況を理解している。	・作品の時代背景や当時の沖縄の状況を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・当間キヨに対する「私」の心情の変化を、状況の変化とともに読み取り、その根拠を説明している。 ・「私」と出会って別れるまでの当間キヨの心情の変化を、状況の変化とともに読み取り、根拠とともに説明している。 ・「私」が当間キヨの前で自然にひざまずいた時の「私」の気持ちを読み取り、根拠とともに説明している。 ・当間キヨと同じ嗚咽がこみ上げてきた時の「私」の気持ちを読み取り、根拠とともに説明している。	・当間キヨに対する「私」の心情の変化を、状況の変化とともに読み取っている。 ・「私」と出会って別れるまでの当間キヨの心情の変化を、状況の変化とともに読み取っている。 ・「私」が当間キヨの前で自然にひざまずいた時の「私」の気持ちを読み取っている。 ・当間キヨと同じ嗚咽がこみ上げてきた時の「私」の気持ちを読み取っている。	・当間キヨに対する「私」の心情の変化を、状況の変化とともに読み取っていない。 ・「私」と出会って別れるまでの当間キヨの心情の変化を、状況の変化とともに読み取っていない。 ・「私」が当間キヨの前で自然にひざまずいた時の「私」の気持ちを読み取っていない。 ・当間キヨと同じ嗚咽がこみ上げてきた時の「私」の気持ちを読み取っていない。
	④考えの形成 読(1) カ	・戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を理解し、人間の生死について自分の考えをまとめ、説明している。	・戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を理解し、人間の生死について自分の考えをまとめている。	・戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を理解していないか、理解していても人間の生死について自分の考えをまとめていない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑤考察	登場人物の生き方や考え方から、人間の生死について自分の考えをまとめ、考察を深めようとしている。	登場人物の生き方や考え方から、人間の生死について自分の考えをまとめようとしている。	登場人物の生き方や考え方から、人間の生死について自分の考えをまとめようとしていない。
-----------------------	-----	---	---	--

■「鉄」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・詩の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②詩の理解 (2) ア	・作品に表れている作者の個性や表現の特色を理解し、説明している。	・作品に表れている作者の個性や表現の特色を理解している。	・作品に表れている作者の個性や表現の特色を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・「鉄」とはどのようなものを表しているのかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・「わたし」が「変わること」をどのように捉えているかを読み取り、根拠とともに説明している。	・「鉄」とはどのようなものを表しているのかを読み取っている。 ・「わたし」が「変わること」をどのように捉えているかを読み取っている。	・「鉄」とはどのようなものを表しているのかを読み取っていない。 ・「わたし」が「変わること」をどのように捉えているかを読み取っていない。
	⑤内容の解釈 読(1) イ	・作者の視点や表現の特色を理解したうえで、共感できる点をまとめ、根拠とともに説明している。	・作者の視点や表現の特色を理解したうえで、共感できる点をまとめている。	・作者の視点や表現の特色を理解したうえで、共感できる点をまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	⑥考察・話し合い	・作品に共感できる点をまとめ、話し合いを通してさらに考えを深めようとしている。	・作品に共感できる点をまとめ、話し合おうとしている。	・作品に共感できる点をまとめ、話し合おうとしない。

■「竹」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・詩の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②詩の理解 (2) ア	・作品の特徴的なリズムや表現とその効果を理解し、説明している。	・作品の特徴的なリズムや表現とその効果を理解している。	・作品の特徴的なリズムや表現とその効果を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・第一連と第二連を比較して、竹の姿がそれぞれどのように表現されているかを読み取り、その内容を説明している。	・第一連と第二連を比較して、竹の姿がそれぞれどのように表現されているかを読み取っている。	・第一連と第二連を比較して、竹の姿がそれぞれどのように表現されているかを読み取っていない。
	⑤内容の解釈 読(1) イ	・作者の視点や表現の特色を理解したうえで、どのような心情が表現されているかについて自分の考えをまとめ、その内容を説明している。	・作者の視点や表現の特色を理解したうえで、どのような心情が表現されているかについて自分の考えをまとめている。	・作者の視点や表現の特色を理解したうえで、どのような心情が表現されているかについて自分の考えをまとめていない。
学習主体に 主体的に取り組む態度	⑥考察・話し合い	・作品に表現されている心情について、自分の考えをまとめ、話し合いを通してさらに考えを深めようとしている。	・作品に表現されている心情について、自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	・作品に表現されている心情について、自分の考えをまとめ、話し合おうとしていない。

■「永訣の朝」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・詩の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②詩の理解 (2) ア	・作品に表れている作者の個性や表現の特色を理解し、説明している。	・作品に表れている作者の個性や表現の特色を理解している。	・作品に表れている作者の個性や表現の特色を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・「わたくし」の行動と心情の変化を読み取り、全体を4つの部分に分けて整理し、その内容を説明している。 ・「わたくし」の心情を読み取り、その内容を説明している。 ・「いもうと」の心情を読み取り、その内容を説明している。 ・「雪」に作者が込めた思いを読み取り、その内容を説明している。	・「わたくし」の行動と心情の変化を読み取り、全体を4つの部分に分けて整理している。 ・「わたくし」の心情を読み取っている。 ・「いもうと」の心情を読み取っている。 ・「雪」に作者が込めた思いを読み取っている。	・「わたくし」の行動と心情の変化を読み取り、全体を4つの部分に分けて整理していない。 ・「わたくし」の心情を読み取っていない。 ・「いもうと」の心情を読み取っていない。 ・「雪」に作者が込めた思いを読み取っていない。
	⑤内容の解釈 読(1) イ	・描かれた行動や言葉、表現の特色を理解したうえで、「わたくし」の「いもうと」に対する思いについて自分の考えをまとめ、その内容を説明している。	・描かれた行動や言葉、表現の特色を理解したうえで、「わたくし」の「いもうと」に対する思いについて自分の考えをまとめている。	・描かれた行動や言葉、表現の特色を理解したうえで、「わたくし」の「いもうと」に対する思いについて自分の考えをまとめていない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑥考察・話し合い	作品の主題と、それを支える優れた表現だと思う点について、自分の考えをまとめ、話し合いを通してさらに考えを深めようとしている。	作品の主題と、それを支える優れた表現だと思う点について、自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	作品の主題と、それを支える優れた表現だと思う点について、自分の考えをまとめ、話し合おうとしていない。
-----------------------	----------	--	---	--

■「硝子の駒—短歌抄」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・短歌の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・短歌の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・短歌の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②短歌の理解 (2) ア	・短歌独自の表現の特徴と表現効果を理解し、根拠をもって説明している。	・短歌独自の表現の特徴と表現効果を理解している。	・短歌独自の表現の特徴と表現効果を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・短歌の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・短歌の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・短歌の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・それぞれの歌が、どのような情景や心情を表現しているかを読み取り、説明している。	・それぞれの歌が、どのような情景や心情を表現しているかを読み取っている。	・それぞれの歌が、どのような情景や心情を表現しているかを読み取っていない。
	⑤比較・考察 読(1) ウ	・それぞれの歌の表現の特徴や技法を、比較しながら理解し、説明している。 ・最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを、根拠をもって文章にまとめている。 ・友達がまとめた文章を読み、歌の表現や解釈について理解を深め、考察した内容を説明している。	・それぞれの歌の表現の特徴や技法を、比較しながら理解している。 ・最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめている。 ・友達がまとめた文章を読み、歌の表現や解釈について理解を深めている。	・それぞれの歌の表現の特徴や技法を、比較しながら理解していない。 ・最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめていない。 ・友達がまとめた文章を読み、歌の表現や解釈について理解を深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥考察	・最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめ、歌の表現や解釈についての理解を深めようとしている。	・最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめようとしている。	・最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめようとしていない。

■「言葉に対する慎み」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②短歌の理解 (2) ア	・短歌独自の表現の特徴と形容詞に頼らない短歌の洗練方法を理解し、根拠とともに説明している。	・短歌独自の表現の特徴と形容詞に頼らない短歌の洗練方法を理解している。	・短歌独自の表現の特徴と形容詞に頼らない短歌の洗練方法を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・筆者は形容詞をどのようなものと捉えているかをまとめ、根拠とともに説明している。 ・初心者の短歌が「言い過ぎ」になってしまう理由を、筆者はどのように考えているか読み取り、根拠とともに説明している。 ・筆者が「自分のいちばん言いたいところは言わないでおく」覚悟が必要と主張する理由を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「それはまた…要素ではないだろうか。」についての筆者の主張を理解し、根拠とともに説明している。	・筆者は形容詞をどのようなものと捉えているかをまとめている。 ・初心者の短歌が「言い過ぎ」になってしまう理由を、筆者はどのように考えているか読み取っている。 ・筆者が「自分のいちばん言いたいところは言わないでおく」覚悟が必要と主張する理由を読み取っている。 ・「それはまた…要素ではないだろうか。」についての筆者の主張を理解している。	・筆者は形容詞をどのようなものと捉えているかをまとめていない。 ・初心者の短歌が「言い過ぎ」になってしまう理由を、筆者はどのように考えているか読み取っていない。 ・筆者が「自分のいちばん言いたいところは言わないでおく」覚悟が必要と主張する理由を読み取っていない。 ・「それはまた…要素ではないだろうか。」についての筆者の主張を理解していない。
	④考えの形成 読(1) カ	・筆者の短歌に隠された思いをくみ取り、考えを深め、その内容を説明している。	・筆者の短歌に隠された思いをくみ取り、考えを深めている。	・筆者の短歌に隠された思いをくみ取り、考えを深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤考察・話し合い	・日常の人間関係において、「表現の慎みといった態度」が大切になるのはどのようなときか、具体的な場面を挙げながら話し合い、さらに考えを深めようとしている。	・日常の人間関係において、「表現の慎みといった態度」が大切になるのはどのようなときか、具体的な場面を挙げながら話し合おうとしている。	・日常の人間関係において、「表現の慎みといった態度」が大切になるのはどのようなときか、具体的な場面を挙げながら話し合おうとしていない。

■「【言語活動】共同で詩を創作する」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き (1) ア	・詩の創作に使用する語句について、言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・詩の創作に使用する語句について、言葉の意味と働きを理解している。	・詩の創作に使用する語句について、言葉の意味と働きを理解していない。
	②共同創作の理解 (1) ウ	・言葉を組み合わせる共同創作を通して、意味の断絶や飛躍から、詩の新たな味わいや面白さが生まれることを理解し、その内容を説明している。	・言葉を組み合わせる共同創作を通して、意味の断絶や飛躍から、詩の新たな味わいや面白さが生まれることを理解している。	・言葉を組み合わせる共同創作を通して、意味の断絶や飛躍から、詩の新たな味わいや面白さが生まれることを理解していない。
	③表現の技法 (1) エ	・詩における表現の技法を理解し、表現したい内容にふさわしいものを選択して創作している。	・詩における表現の技法を理解し、創作している。	・詩における表現の技法を理解していないか、理解していても創作していない。
思考・判断・表現	④推敲・共有 書(1) エ	・言葉を組み合わせながら、表現したい内容とそれがより伝わる表現を吟味し整え、詩を創作している。 ・他の組が創作した詩について、よいところや工夫されているところを見つけ、伝えている。 ・活動を通して、自分が詩のどのような要素に価値を感じているかをまとめ、説明している。	・言葉を組み合わせながら、表現したい内容を考え、詩を創作している。 ・他の組が創作した詩について、よいところや工夫されているところを見つけている。 ・活動を通して、自分が詩のどのような要素に価値を感じているかをまとめている。	・言葉を組み合わせながら、表現したい内容を考え、詩を創作していない。 ・他の組が創作した詩について、よいところや工夫されているところを見つけていない。 ・活動を通して、自分が詩のどのような要素に価値を感じているかをまとめていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤創作	・共同での詩の創作の過程や意見交換によって、詩に対する自分の価値観を捉え直し、発表を通してさらに考えを深めようとしている。	・共同での詩の創作の過程や意見交換によって、詩に対する自分の価値観を捉え直そうとしている。	・共同での詩の創作の過程や意見交換によって、詩に対する自分の価値観を捉え直そうとしていない。

■「こころ」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②時代の特質 (2) ア	・作品の時代背景や当時の作者の状況を理解し、その内容を説明している。	・作品の時代背景や当時の作者の状況を理解している。	・作品の時代背景や当時の作者の状況を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解し、根拠をもって説明している。	・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解している。	・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・本文を話の展開に沿って場面分けし、それぞれの内容を要約し、説明している。 ・「私」についての表現から、そのときの「私」の心理状態を読み取り、説明している。 ・Kの言葉から、そのときの心理状態を読み取り、説明している。	・本文を話の展開に沿って場面分けし、それぞれの内容を要約している。 ・「私」についての表現から、そのときの「私」の心理状態を読み取っている。 ・Kの言葉から、そのときの心理状態を読み取っている。	・本文を話の展開に沿って場面分けし、それぞれの内容を要約していない。 ・「私」についての表現から、そのときの「私」の心理状態を読み取っていない。 ・Kの言葉から、そのときの心理状態を読み取っていない。
	⑤解釈の多様性 読(1) エ	・Kが自殺した理由・原因について、本文から自分の考えをまとめ、根拠をもって説明している。 ・「私」がKの自殺をどのように受け止めたか自分の考えをまとめ、説明している。 ・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることをまとめ、根拠をもって説明している。	・Kが自殺した理由・原因について、本文から自分の考えをまとめている。 ・「私」がKの自殺をどのように受け止めたか自分の考えをまとめている。 ・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることをまとめている。	・Kが自殺した理由・原因について、本文から自分の考えをまとめている。 ・「私」がKの自殺をどのように受け止めたか自分の考えをまとめている。 ・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることをまとめている。

		・話し合いを通して、文章の解釈には違いがあることを理解し、その内容を考察している。	・話し合いを通して、文章の解釈には違いがあることを理解している。	・話し合いを通して、文章の解釈には違いがあることを理解していない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑥考察・話し合い	・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることについて、自分の考えをまとめ、話し合いを通してさらに考えを深めようとしている。	・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることについて、自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることについて、自分の考えをまとめ、話し合おうとしていない。

■「【読み比べ】『ころ』上と下を読み比べる」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②時代の特徴 (2) ア	・作品の時代背景や当時の作者の状況を理解し、その内容を説明している。	・作品の時代背景や当時の作者の状況を理解している。	・作品の時代背景や当時の作者の状況を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・作品の重要な部分を比較することを通して、その作品の見方、感じ方、考え方を深める意義について理解し、根拠をもって説明している。	・作品の重要な部分を比較することを通して、その作品の見方、感じ方、考え方を深める意義について理解している。	・作品の重要な部分を比較することを通して、その作品の見方、感じ方、考え方を深める意義について理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・先生のお墓参りと「私」の考えるそれとの違いを読み取り、根拠とともに説明している。 ・「すると先生の眉が……ものであった。」の先生の表情について、このとき先生の心にどのような思いが生じたか読み取り、根拠とともに説明している。 ・先生が抱えてきた K との過去がどのようなものだったか読み取り、根拠とともに説明している。	・先生のお墓参りと「私」の考えるそれとの違いを読み取っている。 ・「すると先生の眉が……ものであった。」の先生の表情について、このとき先生の心にどのような思いが生じたか読み取っている。 ・先生が抱えてきた K との過去がどのようなものだったか読み取っている。	・先生のお墓参りと「私」の考えるそれとの違いを読み取っていない。 ・「すると先生の眉が……ものであった。」の先生の表情について、このとき先生の心にどのような思いが生じたか読み取っていない。 ・先生が抱えてきた K との過去がどのようなものだったか読み取っていない。
	⑤解釈の多様性 読(1) エ	・上と下の比較を通して、作品の主題について考えを深め、根拠とともに説明している。 ・話し合いを通して、文章の解釈には違いがあることを理解し、その内容を考察している。	・上と下の比較を通して、作品の主題について考えを深めている。 ・話し合いを通して、文章の解釈には違いがあることを理解している。	・上と下の比較を通して、作品の主題について考えを深めていない。 ・話し合いを通して、文章の解釈には違いがあることを理解していない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑥考察・話し合い	登場人物の心情を長編作品内の部分比較によって把握し、作品の主題について自分の考えをまとめ、話し合うことを通して、さらに考えを深めようとしている。	登場人物の心情を長編作品内の部分比較によって把握し、作品の主題について自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	登場人物の心情を長編作品内の部分比較によって把握し、作品の主題について自分の考えをまとめ、話し合おうとしていない。
-----------------------	----------	--	--	---

■「文学のふるさと」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文学の特質 (2) ア	・「文学のふるさと」についての筆者の主張から、文学のよりどころについて理解し、その内容を説明している。	・「文学のふるさと」についての筆者の主張から、文学のよりどころについて理解している。	・「文学のふるさと」についての筆者の主張から、文学のよりどころについて理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠とともに説明している。	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・具体例と筆者の考えとの関係を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「赤頭巾」「狂言」『伊勢物語』について、それぞれ筆者が着目している点を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「文学のふるさと」について筆者はどのように捉えているか読み取り、根拠とともに説明している。	・具体例と筆者の考えとの関係を読み取っている。 ・「赤頭巾」「狂言」『伊勢物語』について、それぞれ筆者が着目している点を読み取っている。 ・「文学のふるさと」について筆者はどのように捉えているか読み取っている。	・具体例と筆者の考えとの関係を読み取っていない。 ・「赤頭巾」「狂言」『伊勢物語』について、それぞれ筆者が着目している点を読み取っていない。 ・「文学のふるさと」について筆者はどのように捉えているか読み取っていない。
	⑤考えの形成 読(1) カ	・筆者が主張する「文学のふるさと」を理解することを通して、文学のよりどころについての考えを深め、その内容を説明している。	・筆者が主張する「文学のふるさと」を理解することを通して、文学のよりどころについての考えを深めている。	・筆者が主張する「文学のふるさと」を理解することを通して、文学のよりどころについての考えを深めていない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑥意見の提示	・筆者が「文学のふるさと」をどのようなものだと考えているか、本文に即して筆者の主張をまとめ、説明しようとしている。	・筆者が「文学のふるさと」をどのようなものだと考えているか、本文に即して筆者の主張をまとめようとしている。	・筆者が「文学のふるさと」をどのようなものだと考えているか、本文に即して筆者の主張をまとめようとしていない。
-----------------------	--------	---	---	--

■『『物語り』について』ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②民話の理解 (2) ア	・小野和子さんが言及した民話についての二つの例について理解し、その内容を説明している。	・小野和子さんが言及した民話についての二つの例について理解している。	・小野和子さんが言及した民話についての二つの例について理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・現代の語り手が聞き手の関心の希薄化に伴って、「語り」を変化させてしまう状況について理解し、根拠とともに説明している。 ・小野さんが「お話がかわいそう。」と言った理由を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「この不条理は老人にとって必要な物語であった。」理由を読み取り、根拠とともに説明している。 ・充実した「生」の感覚を得る方法と、その感覚がどのようなものかを読み取り、根拠とともに説明している。	・現代の語り手が聞き手の関心の希薄化に伴って、「語り」を変化させてしまう状況について、理解している。 ・小野さんが「お話がかわいそう。」と言った理由を読み取っている。 ・「この不条理は老人にとって必要な物語であった。」理由を読み取っている。 ・充実した「生」の感覚を得る方法と、その感覚がどのようなものかを読み取っている。	・現代の語り手が聞き手の関心の希薄化に伴って、「語り」を変化させてしまう状況について、理解していない。 ・小野さんが「お話がかわいそう。」と言った理由を読み取っていない。 ・「この不条理は老人にとって必要な物語であった。」理由を読み取っていない。 ・充実した「生」の感覚を得る方法と、その感覚がどのようなものかを読み取っていない。
	④考えの形成 読(1) カ	・民話とその語りに関する筆者の主張を理解することを通して、物語の意義についての考えを深め、その内容を説明している。	・民話とその語りに関する筆者の主張を理解することを通して、物語の意義についての考えを深めている。	・民話とその語りに関する筆者の主張を理解することを通して、物語の意義についての考えを深めていない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑤考察	・「原因と結果のギャップ」が甚だしい物語の基になっている、「不条理な現実」について、自分の考えをまとめ、例を挙げて発表し、さらに考えを深めようとしている。	・「原因と結果のギャップ」が甚だしい物語の基になっている、「不条理な現実」について、自分の考えをまとめ、例を挙げて発表しようとしている。	・「原因と結果のギャップ」が甚だしい物語の基になっている、「不条理な現実」について、自分の考えをまとめ、例を挙げて発表しようとしていない。
-----------------------	-----	---	--	---

■「【言語活動】評論や解説を参考に論述する」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き (1) ア	・作品や参考文献について必要な言葉を理解し、正しく選択して書いており、使用している以外の言葉や使われ方についても理解している。	・作品や参考文献について必要な言葉を理解し、正しく選択して書いている。	・作品や参考文献について必要な言葉を理解せず、正しく選択して書いていない。
	②評論の理解 (1) ウ	・評論や解説を参考に自分の考えを論述することで、作品についての多面的理解が深まることを理解し、その内容を根拠とともに説明している。	・評論や解説を参考に自分の考えを論述することで、作品についての多面的理解が深まることを理解している。	・評論や解説を参考に自分の考えを論述することで、作品についての多面的理解が深まることを理解していない。
	③表現の技法 (1) エ	・自分の立てた仮説についての検証の手順を理解し、適切な文献を選択し、根拠をもって論述している。	・自分の立てた仮説についての検証の手順を理解し、適切な文献を選択して論述している。	・自分の立てた仮説についての検証の手順を理解し、適切な文献を選択して論述していない。
思考・判断・表現	④作品の解釈 読(1) オ	・自分が立てた仮説に関する適切な文献を選び、そこからさまざまな解釈を読み取り、根拠とともに説明している。 ・他者の論述から、さまざまな解釈を読み取り、根拠とともに説明している。	・自分が立てた仮説に関する適切な文献を選び、そこからさまざまな解釈を読み取っている。 ・他者の論述から、さまざまな解釈を読み取っている。	・自分が立てた仮説に関する適切な文献を選び、そこからさまざまな解釈を読み取っていない。 ・他者の論述から、さまざまな解釈を読み取っていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤論述	・自分が立てた仮説について、評論や解説を参考にして構想を立てて論述し、解釈を深めようとしている。	・自分が立てた仮説について、評論や解説を参考にして構想を立てて論述しようとしている。	・自分が立てた仮説について、評論や解説を参考にして構想を立てて論述しようとしていない。

■「鞆」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②時代の特質 (2) ア	・作品の寓意が表すものから、「現代」という時代の特質を理解し、その内容を説明している。	・作品の寓意が表すものから、「現代」という時代の特質を理解している。	・作品の寓意が表すものから、「現代」という時代の特質を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・作品の舞台設定を確認し、青年の行動に対する「私」の印象を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「私」と青年の会話から、青年が持つ鞆に対する「私」の気持ちの変化を読み取り、根拠とともに説明している。 ・鞆を持って歩く「私」の心情について読み取り、根拠とともに説明している。	・作品の舞台設定を確認し、青年の行動に対する「私」の印象を読み取っている。 ・「私」と青年の会話から、青年が持つ鞆に対する「私」の気持ちの変化を読み取っている。 ・鞆を持って歩く「私」の心情について、読み取っている。	・作品の舞台設定を確認し、青年の行動に対する「私」の印象を読み取っていない。 ・「私」と青年の会話から、青年が持つ鞆に対する「私」の気持ちの変化を読み取っていない。 ・鞆を持って歩く「私」の心情について、読み取っていない。
	⑤解釈の多様性 読(1) エ	・鞆が象徴するものを手がかりに、作品の主題について考えを深め、根拠とともに説明している。 ・他者の内容紹介文を読むことを通して、作品のさまざまな捉え方を理解し、根拠とともに	・鞆が象徴するものを手がかりに、作品の主題について考えを深めている。 ・他者の内容紹介文を読むことを通して、作品のさまざまな捉え方を理解している。	・鞆が象徴するものを手がかりに、作品の主題について考えを深めていない。 ・他者の内容紹介文を読むことを通して、作品のさまざまな捉え方を理解していない。

		説明している。		
主体的に 学習に取り組む 態度	⑥紹介文	・ 作者がこの作品で何を描きたかったのかを読み取ったうえで内容紹介文を書き、作品における表現の特徴について考えを深めようとしている。	・ 作者がこの作品で何を描きたかったのかを読み取ったうえで、内容紹介文を書こうとしている。	・ 作者がこの作品で何を描きたかったのかを読み取ったうえで、内容紹介文を書こうとしていない。

■「【読み比べ】小説に込められた寓意を考える」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文学作品の知識 (2) ア	・安部公房、カフカとその作品の特徴を理解し、その内容を説明している。	・安部公房、カフカとその作品の特徴を理解している。	・安部公房、カフカとその作品の特徴を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・「橋」に込められた寓意を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「鞆」と「橋」における共通点と相違点を読み取り、根拠とともに説明している。	・「橋」に込められた寓意を読み取っている。 ・「鞆」と「橋」における共通点と相違点を読み取っている。	・「橋」に込められた寓意を読み取っていない。 ・「鞆」と「橋」における共通点と相違点を読み取っていない。
	⑤考えの比較 読(1) キ	・さまざまな寓意小説を読むことを通して、作品についての自分のものの見方や感じ方、考え方を深め、その内容を説明している。	・さまざまな寓意小説を読むことを通して、作品についての自分のものの見方や感じ方、考え方を深めている。	・さまざまな寓意小説を読むことを通して、作品についての自分のものの見方や感じ方、考え方を深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥考察	・二つの寓意小説で何が描かれているかを比較して、寓意について考えたうえで、発表し、さらに考えを深めようとしている。	・二つの寓意小説で何が描かれているかを比較して、寓意について考えたうえで、発表しようとしている。	・二つの寓意小説で何が描かれているかを比較して、寓意について考えたうえで、発表しようとしていない。

■「隣人運」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②作品の理解 (2) ア	・登場人物の関係や心情の変化から、作品を理解し、その内容を説明している。	・登場人物の関係や心情の変化から、作品を理解している。	・登場人物の関係や心情の変化から、作品を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・「俺」は「天気の話」に、どのような役割があると考えているか読み取り、根拠とともに説明している。 ・「隣の家が遠のいていくような気がした。」とは、どのような気持ちか読み取り、根拠とともに説明している。 ・「俺」がハチドリの話を「今はやめておこう。」と思った理由を読み取り、根拠とともに説明している。	・「俺」は「天気の話」に、どのような役割があると考えているか読み取っている。 ・「隣の家が遠のいていくような気がした。」とは、どのような気持ちか読み取っている。 ・「俺」がハチドリの話を「今はやめておこう。」と思った理由を読み取っている。	・「俺」は「天気の話」に、どのような役割があると考えているか読み取っていない。 ・「隣の家が遠のいていくような気がした。」とは、どのような気持ちか読み取っていない。 ・「俺」がハチドリの話を「今はやめておこう。」と思った理由を読み取っていない。
	④内容の解釈 読(1) イ	・「隣人運」という題名に込められた作者の思いを、「隣人」という言葉をもとに多角的に捉え、根拠とともに説明している。	・「隣人運」という題名に込められた作者の思いを捉えている。	・「隣人運」という題名に込められた作者の思いを捉えていない。
学習に主体的に取り組む態度	⑤考察・話し合い	・自分の経験と比較しながら、現代社会における人間関係について考えをまとめ、話し合い、日常生活にも活かそうとしている。	・自分の経験と比較しながら、現代社会における人間関係について考えをまとめ、話し合おうとしている。	・自分の経験と比較しながら、現代社会における人間関係について考えをまとめ、話し合おうとしていない。

■「【言語活動】翻案作品を創作する」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き (1) ア	・ 翻案作品の創作に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いており、使用している以外の言葉や使われ方についても理解している。	・ 翻案作品の創作に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いている。	・ 翻案作品の創作に必要な言葉を理解しておらず、正しく選択して書いていない。
	②翻案作品の理解 (1) ウ	・ もとの作品と翻案作品を比較することや翻案作品を創作することで、翻案によって、もとの作品にはない新たな表現効果が生まれることを理解し、根拠とともに説明している。	・ もとの作品と翻案作品を比較することや翻案作品を創作することで、翻案によって、もとの作品にはない新たな表現効果が生まれることを理解している。	・ もとの作品と翻案作品を比較することや翻案作品を創作することで、翻案によって、もとの作品にはない新たな表現効果が生まれることを理解していない。
	③表現の技法 (1) エ	・ 翻案作品の創作に必要な手順を理解し、その内容を説明している。 ・ 翻案作品の創作において、読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるために、適切な構成や展開を選択し、その内容を説明している。	・ 翻案作品の創作に必要な手順を理解している。 ・ 翻案作品の創作において、読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるために、適切な構成や展開を選択している。	・ 翻案作品の創作に必要な手順を理解していない。 ・ 翻案作品の創作において、読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるために、適切な構成や展開を選択していない。
思考・判断・表現	④構成や展開の工夫 書(1) イ	・ 読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるための構成や展開を検討・選択して翻案作品を創作し、根拠とともに説明している。 ・ 他者の翻案作品を読み込むことを通して、読み手に効果的に伝えるための構成や展開のさまざまな工夫を理解し、根拠とともに説明している。	・ 読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるための構成や展開を検討・選択して翻案作品を創作している。 ・ 他者の翻案作品を読み込むことを通して、読み手に効果的に伝えるための構成や展開のさまざまな工夫を理解している。	・ 読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるための構成や展開を検討・選択して翻案作品を創作していない。 ・ 他者の翻案作品を読み込むことを通して、読み手に効果的に伝えるための構成や展開のさまざまな工夫を理解していない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑤翻案作品の創作	・読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるために、構成や展開を工夫しながら翻案作品を創作し、作品への理解を深めようとしている。	・読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるために、構成や展開を工夫しながら翻案作品を創作しようとしている。	・読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるために、構成や展開を工夫しながら翻案作品を創作しようとしていない。
-----------------------	----------	--	--	---